

未来へ続く夢列車

# とてつぽ



学校教育目標 「十勝野に立ち 不屈を目指す」  
今年度重点テーマ 「か・わ・に・し-Style」

帯広市立川西中学校 学校だより

令和4年6月3日  
第6号



発行者 今野 典之

## 走って 跳んで 心をひとつにした体育祭

「がんばることは カッコいい!」「そろえることは うつくしい!」

第76回体育祭が5月28日(土)開催されました。多くの保護者、ご家族にご観覧いただき、心より感謝申し上げます。学校・家庭・地域の共通の宝である子どもたちの一生懸命な姿を見ていただくことができ、本当に良い一日となりました。

振り返ると、3年生は修学旅行を終えた翌週から体育祭特別時間割が開始になり、土日は部活動の大会と休む間もなく活動を進めてきました。縦割りの紅白の組団ではすばらしいリーダーシップを発揮し、競技練習はもちろん開閉会式・ラジオ体操での態度、集合や整列、競技に向かう心構え、様々な声かけなど、体育祭を真剣勝負で緊張感のある、それでいてみんなで楽しめるとても良い雰囲気にしてくれました。

体育祭当日、私は生徒が必死に競技に取り組む姿に元気をもらいました。

勝利に向かって、心をひとつにしている姿に感動をもらいました。

そして思いました。「必死にがんばる姿はカッコいい。」「目標に向かって、みんなの気持ちひとつになっている姿はうつくしい。」と。

1年生は、初めての体育祭、先輩の指示を聞きながらよくがんばりました。

2年生は、中堅学年として、先輩と後輩のつなぎ役として、活躍してくれました。

3年生は、最上級生として、常に重大な責任を担いながら、すばらしいリーダーシップを発揮し、後輩たちを導いてくれました。

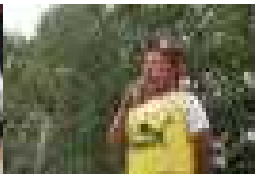
この体育祭の取組で得られた経験により子どもたちは一回り成長しました。学校行事の意義と大切さ、子どもたちの無限の可能性を感じることができました。それと同時に、我々大人がどのような学びの場を設定し、どのような成長を促していくかという重責を担っていることを改めて感じました。今後もこの体育祭のように、今だからできる貴重な体験を創造していけるように教育活動を推進していきますので、よろしく願いいたします。

選手宣誓・生徒会長あいさつ・副会長あいさつ どれも内容が立派!

100m走



玉入れ



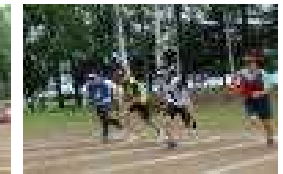
綱引き



川西ハリケーン



川西ばんば



大縄跳び1年



大縄跳び2年



大縄跳び3年



紅白リレー



表彰



# 自己肯定感と自己有用感を考える

本校は今年度「自己肯定感・自己有用感を高める教育活動の推進」を目標にしています。体育祭という大きな行事を終え、自己肯定感と自己有用感について考えてみました。

自己肯定感とは、「自己」を「肯定」する感情のことです。「自分の長所も短所も含めて、ありのままの自分を認める、受け入れる」ということです。

自己有用感とは、「自分が有用だ」と思える感情です。「自分が、周りの人の役に立っている、貢献できていると感じることができる」ということです。

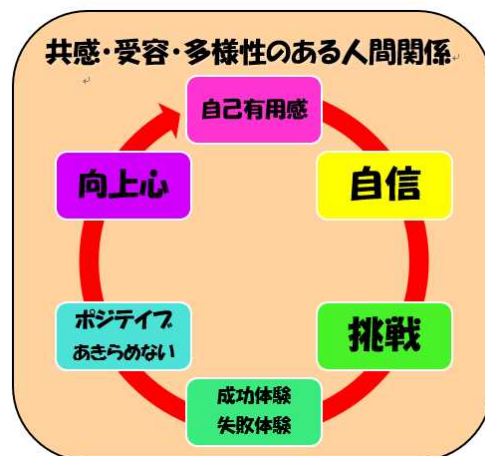
自己肯定感は自分に対する自己評価なのに対して、自己有用感是他者からの評価、他者から認められることで育まれる感情です。

それでは、自己肯定感と自己有用感を高めるためにはどうすればいいのでしょうか。

自己有用感、他人がどう評価するかが影響するので、共感的な理解をもとにした人間関係づくり、集団づくりが大事になってきます。学級活動、委員会活動、授業、部活動など、様々な場面で頑張りや努力が認められ、感謝されたり、褒められたりすることで育まれます。学級や部活動の仲間、先生、親が、頑張りや努力を評価し、しっかり伝えてあげることが重要です。

それに比べると、自己肯定感の向上は難しい。何をきっかけに「弱さや悪いところ、嫌な面も含めて自分を受け止めること」ができるのか。そこには自己有用感が大きく関係していると思います。

「自分は人の役に立っている」「学級の中で自分の役割がある」「自分には得意なことがある」など、まず自分の良さに気づくことが大切です。そして、自信をもって様々なことに挑戦することです。挑戦することで得られる経験や学びが自己肯定感を形成していくのだと思います。右の図のプラスのサイクルが生まれることによって、自己肯定感は高まっていくのではないのでしょうか。



体育祭は、自己有用感を感じることができる場面がたくさんありました。紅白の縦割り活動で3年生が1・2年生にアドバイスする、競技での頑張りや称え合う、前向きな声かけ、運動が得意な人はそれを生かしチームに貢献する、苦手な人はチームのために精一杯練習してミスがないように努力する、みんなが自分の役割や集団への貢献を感じることができる場面がたくさんありました。

これからも川西中学校は、共感的で、多様性があり、受容する人間関係づくりをもとに、自己有用感・自己肯定感を高める教育活動を推進していきます。「挑戦なくして成長なし」、挑戦する子どもたちを褒めて励ましていきます。

ご家庭でも褒めて、励まし、ふれ合いを大切にいただければと思います。

私見を長々と書かせていただきました。保護者の皆様の忌憚のないご意見もお聞かせいただければ幸いです。「すべては子どもたちの成長のために」を合い言葉に！

## スタディサプリを活用しよう！

リクルート社のスタディサプリの活用が始まっています。前期中間テストも来週となりました。端末も毎日持ち帰っていますので、ぜひ、家庭で問題や動画を有効活用してください！

